

2024年度 通信教育実施計画

教科	公民	科目	政治・経済	単位数：2単位
指導目標				
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題に解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付け、国民主権を担う公民として自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。				
スクーリング	1単位時間×4回	合格時間数：1時間以上	教科書	東京書籍 政治・経済
レポート	全6通	合格通数：6通	副教材	無し
メディア学習	全6通	合格通数：6通	単位認定試験対策プリント	4通
高校通信講座	あり	講座数：全20回	単位認定試験	12月 ※8月、1月、2月
評価	5段階評価、観点別評価の実施			

	単元・指導項目	指導内容	スクーリング	レポート	メディア学習 確認書		
4月	民主政治の基本原理と展開／日本国憲法と基本的人権	民主政治の成立過程を理解し、社会生活を送る上で、行動基準となるルールとして法が存在すること、支配者であっても法に従わなければならないという「法の支配」の確立について確認する。 日本国憲法の基本原則を確認し、国民主権・基本的人権の尊重・平和主義について理解を深める。	前期2回				
5月	日本の政治機構／政治参加と民主政治の課題	国会・内閣・裁判所の役割について確認し、そこに帰属する立法権・行政権・司法権が互いに抑制しあう三権分立について理解を深める。 日本の選挙制度や政党への理解を深め、選挙をめぐる課題の探究を通して有権者としての意識を育む。				No. 1 No. 2 提出	No. 1 No. 2 提出
6月	経済活動の意義と経済体制	資本主義経済の成立過程を確認し、特徴と発展、政府の役割の変容について理解するとともに、社会主義経済のしくみと現状を理解する。 経済活動の主体となる、家計・企業・政府がどのように関わりあっているのかを知り、それぞれの役割や特徴について理解を深める。					
7月	現代経済のしくみ/日本経済と福祉の向上	市場メカニズムについて学習し、市場が適切に機能するために独占・寡占の禁止が定められていることについての理解を深め、生活と経済活動の関係性をつかむ。 戦後の経済再建から高度経済成長期を経て、バブル経済崩壊後の現在の日本経済に至るまでの過程を学習し、日本経済の課題について探究する。あわせて、経済成長の裏で併発した公害問題とその対応について理解を深める。				No. 3 No. 4 提出	No. 3 No. 4 提出
8月	復習/単位認定試験※対象者のみ	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。					
9月	復習	半期の学習内容の復習					
10月	国際政治の動向	国際社会はどのような特色を持つのかを知り、理解を深める。戦後にはどのようにして、国際政治が代わっていったのかを知り、アメリカと中国の二大大国になった世界とどう向き合っていくのかを考える。	後期2回	No. 5 No. 6 提出	No. 5 No. 6 提出		
11月	国際経済の動向	国際経済のしくみについて貿易・為替・国際収支の視点を中心に学習し、戦後のアメリカが果たしてきた役割について理解を深める。					
12月・1月	国際社会の課題と日本の役割	発展途上国の経済と抱える課題について探究を深める。 地域統合の過程について学習し、グローバル化が進む世界経済の現状と課題について理解する。				単位認定試験	
2月	復習	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。					

2024年度 通信教育実施計画

教科	公民	科目	倫理	単位数：2単位
<b>指導目標</b> 人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
スクーリング	1単位時間×4回	合格時間数：1時間以上	教科書	東京書籍 倫理・数研出版 倫理
レポート	全6通	合格通数：6通	副教材	無し
メディア学習	全6通	合格通数：6通	単位認定試験対策プリント	4通
高校通信講座	あり	講座数：全20回	単位認定試験	12月 ※8月、1月、2月
評価	5段階評定、観点別評価の実施			

	単元・指導項目	指導内容	スクーリング	レポート	メディア学習 確認書
4月	様々な人間の心の在り方	「倫理」という科目は何を学ぶか、まず「人間とは何か」「自分とは何か」という問いに対して、現代の科学の成果を用いて答えるのではなく、人類がこの世界に現われて以来、問い続けてきた「素朴な」問いとしてとらえ、一人一人の人生の中で考えてみる。	前期2回	No.1 No.2 No.3 提出	No.1 No.2 提出
5月	さまざまな人生観	人間とは何かについて、ギリシャ思想・キリスト教・イスラーム・仏教・中国思想等の思想をとおして、理解を深める。 古今東西の先哲の考え方をとおして、より広い視野から人間としての在り方生き方について確認する。 様々な人間の見方や人生の捉え方を説く代表的な先哲の思想について、自己との関わりにおいて理解を深める。			
6月	さまざまな人生観	国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について学び、日本人に見られる人間観・自然観・宗教観などの特質について理解を深める。 古来の日本人の考え方や日本の先哲の考え方をとおして、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について理解を深める。			
7月	さまざまな倫理観・世界観	人間の尊厳について、ルター・カルヴァン・ベーコン・デカルトの思想をとおして確認する。 社会契約説について、ホブズ・ロック・ルソーをとおして学び、社会と個人との関わりについて理解を深める。			
8月	復習/単位認定試験※対象者のみ	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。	後期2回	No.4 No.5 提出	No.3 No.4 提出
9月	復習	半期の学習内容の復習			
10月	さまざまな倫理観・世界観	現代の「人間尊重」を中心とした倫理に至るまでの過程について、哲学者の思想を学ぶことで理解を深める。	後期2回	No.6 提出	No.5 No.6 提出
11月	国際社会に生きる日本人としての自覚	社会と個人との関わりについて、民主主義社会に焦点を置きその基本的な在り方について確認する。 一人一人の価値観は本来多様なものであり、人生観、世界観ないし価値観を尊重し合うことが民主主義の重要な前提であることを理解する。			
12月・1月	現代の諸課題と倫理	生命、家族、地域社会、情報社会、文化・宗教、環境、国際平和と人類の福祉などの、現代社会の抱える諸課題について、倫理の視点から問題点を把握し、理解を深める。	単位認定試験		
2月	復習	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。			

2024年度 通信教育実施計画

教科	公民	科目	公共	単位数：2単位
指導目標 現代の諸課題の追求・解決についての学習を通して、人間と社会の在り方についてのさまざまな見方・考え方について学ぶ。その上で、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。				
スクーリング	1単位時間×4回	合格時間数：1時間以上	教科書	数研出版 公共
レポート	全6通	合格通数：6通	副教材	無し
メディア学習	全6通	合格通数：6通	単位認定試験対策プリント	4通
高校通信講座	あり	講座数：全20回	単位認定試験	12月 ※8月、1月、2月
評価	5段階評定、観点別評価の実施			

	単元・指導項目	指導内容	スクーリング	レポート	メディア学習 確認書
4月	青年期と自己形成/人間としての自覚/日本人としての自覚	青年期の発達課題を理解し、青年期が人間の社会化のために重要な時期であることを確認するとともに、 年期は、社会的発達をとげるために、社会のなかで自分の欲求をうまく表現し、実現していくことを身につける時期であることを確認する。 過去の哲学者の思想や宗教を学ぶことで、人間とは何か、よりよく生きることとは何かという問いについて探求を深め、各自の答えを模索する。	前期2回	No. 1 No. 2 提出	No. 1 No. 2 提出
5月	民主社会の基本原則/日本社会の基本原則	日本国憲法の骨格をなす民主政治の原理について、成立の流れから基本的人権の確立、世界の政治体制について確認する。 日本国憲法の基本原則を確認し、日本国憲法によって保障される基本的人権について学習する。また、新しい人権と人権保障の広がりについての理解も深める。			
6月	日本の政治機構	日本の政治機構を理解し、国会・内閣・裁判所の役割について整理し、確認する。また、国政と地方自治の関係についても理解を深める。			
7月	日本の政治機構/政治参加と民主政治の課題	日本の裁判制度と人権保障、司法参加の意義についての理解を深める。 選挙と選挙制度について、政党の役割と絡めながら理解を深める。		No. 3 No. 4 提出	No. 3 No. 4 提出
8月	復習/単位認定試験※対象者のみ	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。			
9月	復習	半期の学習内容の復習			
10月	経済のしくみと市場機構	産業革命後の資本主義経済について確認し、経済主体の関係と活動について学ぶ。また、市場経済のしくみについて理解を深めることで、個人の生活と経済活動の関係について把握させる。	後期2回	No. 5 No. 6 提出	No. 5 No. 6 提出
11月	国際社会の動向と日本の役割	戦後復興から高度経済成長、バブル期を経て現在へ至る日本経済の変化について学び、日本経済の現状と課題についての理解を深める。 消費者・労働者の権利と課題について学び、国民生活を支える日本の社会保障の役割についての理解を深める。また、経済活動と環境問題（保全）のバランスについて考える。			
12月・1月	国際社会の動向と日本の役割/単位認定試験	国際経済・政治のしくみと動向について、各国の経済状況と政治の動向が密接に関係していることを理解させる。多様化が進んでいる世界経済のかかえる問題点（南北問題、人口・資源・食糧問題、民族問題と紛争など）について把握し、自己の考えをまとめさせる。			
2月	復習	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。			